

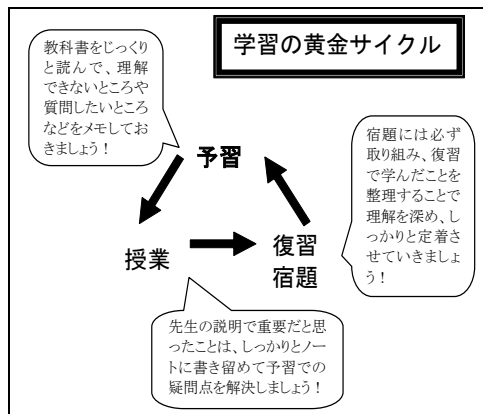
# 進路便り (中学版)



2017年6月7日 発行

東明館高等学校 進路指導部

6月に入りました。梅雨入りはしていませんが、蒸し暑くなりましたね。この時期は身体のバランスを崩しがちです。授業や家庭学習に集中するためにも規則正しい生活を心がけるようにして下さい。どんなに素晴らしい学習計画を立てても、身体の調子を壊しては実行することが出来ません。規則正しい食習慣や睡眠時間の確保などの生活を確立することが、結局は自分の目標達成につながることを知って欲しいと思います。中学校1年生は、学校生活にも慣れて来た頃だと思いますが、慣れることから来る生活の緩みは起こっていませんか。自分が入学した時の気持ちをもう一度思いだしてみてください。この時期に、もう一度気持ちを締め直して学習習慣を確立することが、とても大切だということに気づいて欲しいと思います。



## ○定期考査について

1学期中間考査が終わったばかりと思っている人もいますが、今月の28日からは1学期期末考査があります。定期考査は、授業内容の定着度を測ることを目的にしています。ですから、試験の結果に一喜一憂する気持ちも分かりますが、自分自身の基礎学力を確認するという視点で取り組んで欲しいと思います。また、どの試験でも言えることですが、漫然と試験を受け、受けた後も受けっぱなしにすることが一番良くないことです。試験を受ける前以上に受けてからのやり直しなどの取り組みが大事になってきますので、「授業」「家庭学習」「定期考査」という3つのサイクルを基本に学習活動を行うようにして欲しいと思います。

文責：田代（地歴公民科）

## ○卒業生からのメッセージ

今年も卒業生の方が教育実習生として来られましたが、進路指導部では「大学・学部選択」「勉強法アドバイス」などについて後輩へのアドバイスをお願いしましたので参考にして下さい。



### ◆池上あずさ（24期 立命館大学 情報理工学部、実習教科：中学数学）

#### ①大学の志望理由・経緯

現在、立命館大学の情報理工学部で情報（WEB、ソフトなど）について学んでいます。教員免許が取得でき、別の事も学べるような大学・学部を探していました。情報理工学部では情報だけでなく数学の教員免許が取得可能であり、WEBやその時に現在のゲームに興味があったため、現在の大学を選びました。

#### ②中学時代の勉強方法

中学生は宿題がたくさん出て、煩わしいと思うかもしれませんが、高校生からは宿題などほとんどなく、自己学習が求められます。宿題だけをやる、やりもしないという事を続けてしまうと高校生になってから自己学習の習慣がついていないため、大学受験がより険しい道となります。大変かもしれませんが、日々の復習・演習は現在の自分の成績を上げるだけでなく、将来の自分につながるので、あきらめず頑張りましょう。

#### ③学校生活全般のアドバイス

クラスメイト以外に先生方との触れあいも大切だと思います。私自身、将来の夢や大学の方向性、どういう人間になりたいかは、友人の影響でなく、先生方からの影響の方が大きかったと思います。先生方は教師である前に人生の先輩であるため、とても参考になりました。

### ◆山本桃美（23期 福岡教育大学 教育学部、実習教科：中学数学）

#### ①現在の大学を志願した理由・経緯

私は小学四年生の時から教師になるという夢を持っていました。受験時にいろいろな大学を調べていると、福岡教育大学は初等と中等に分かれていてさらに教科で学科が分かれているということを知り、この大学だったら教師として必要なことを他の大学よりも詳しく十分に学べるのではないかなと思ったのがこの大学を選んだ

理由です。福岡教育大学は他の大学に比べると主に教育学部が占めているという点では特殊かもしれませんが、夢はこれからも変わることがないと確信を持っていたので私にとってはぴったりの大学でした。

#### ②中学時代の勉強法

私は勉強に関して中学生時代にするべきことは、授業で学習することをその時間だけで全て吸収するという気持ちで集中して受けることだと考えます。一見当たり前のようですが、先生の言うことを全て聞き逃さないよう集中して毎時間授業を受けることは実際難しいことでしょう。しかし、それほどの集中力で授業を受け、各教科の宿題をその日の授業の復習として取り組み、また中学生の間は先生方が補習などをしてくださっていると思うのでその補習にもきちんと出ることで確実に学習することが身につけてくると思います。

#### ③学校生活全般のアドバイス

とにかく自分がしたいということを決めて、精一杯取り組むことです。私の場合はそれが部活だったので、中高6年間精一杯打ち込むことでとても素敵な思い出を作ることができました。大人という期間は60年くらいあるかもしれないけれど学生生活は人生のうちでとても少なくやり直しのできない時間なので、今しかできないことを沢山して悔いのないように過ごしてください。

### ◆松藤 翔（22期 福岡教育大学 教育学部、実習教科：中学国語）

#### ①現在の大学を志望した理由

小学生時代から人に教えると言うことが好きだった。一度長崎大学に進学するが、「一生の仕事」と考えたときに自分のやりたいことがしたいと思い、大学を辞めて、九州で唯一の教員養成大学である「福岡教育大学」へ進学することを決めた。

#### ②中学時代の勉強方法

実は9年前のことなのであまり覚えていません。でも確実に言えることは授業には集中していたということと、小テストなどには真面目に取り組んでいたような記憶があります。大抵、どの範囲を小テストするのか先生方が告知されていると思うので、しっかりと準備し見直しを行っていくことが、将来大学入試で必要とされる、基礎的な力を身につけることに繋がるのだと思います。

#### ③学生生活全体のアドバイス

将来何がしたいのかを一度しっかり考えてみてください。皆さんが今後どのような職に就き生きていくのか。それを考え、進路を選択するのが中学校・高校の6年間だと思います。卒業してから分かることですが余所の学校と比べても東明館の受験対策はかなり徹底されています。必要なことは先生方が何年もかけて教えてくれています。どのような態度で日々の授業や小テストに真剣に取り組むかで皆さんの進路が大きく変わります。先生方や仲間と共に楽しく充実した学生生活を送ってください。

### ◆高倉輝（23期 西南学院大学 国際文化学部、実習教科：高校世界史B）

#### ①現在の大学を志望した理由

現在の大学（西南学院大学国際文化学部）を選択したきっかけは、もともと高校時代から世界史が好きだったということが挙げられます。しかし、現在はいろいろな巡り合わせもあり、「映画学」という映画についての学問を学んでいます。

#### ②中学時代の勉強方法

「勉強する習慣の身につける」という部分に尽きると思います。まずは「最低限のことはする」という部分を徹底して、その日の復習や宿題は必ずやるといったところからはじめて、そこから徐々に自分に合った勉強方法、勉強時間を見つけていくことを目標にがんばりましょう。特に復習は非常に効果的なので、最低限復習はやるようにするだけでも変わってくると思います。

#### ③学校生活全般のアドバイス

ぜひ中学、高校時代に「外に向けて表現する」ということをやってほしいです。いまの感性だからこそ表現できることが、その時々でたくさんあると思います。それは、芸術だとか、議論だとか、スポーツだとか、かたちは人それぞれだと思いますが、何かのめり込めるようなものをこの時期に見つかけられると、楽しい学校生活になると思います。

